

奥沢1～3丁目等界わい形成地区 ～みどりと人がつなぐおくさわの風景づくり～（原案）

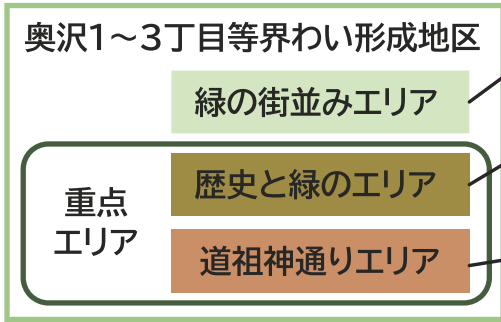
原案はこちらをご覧ください。



区域

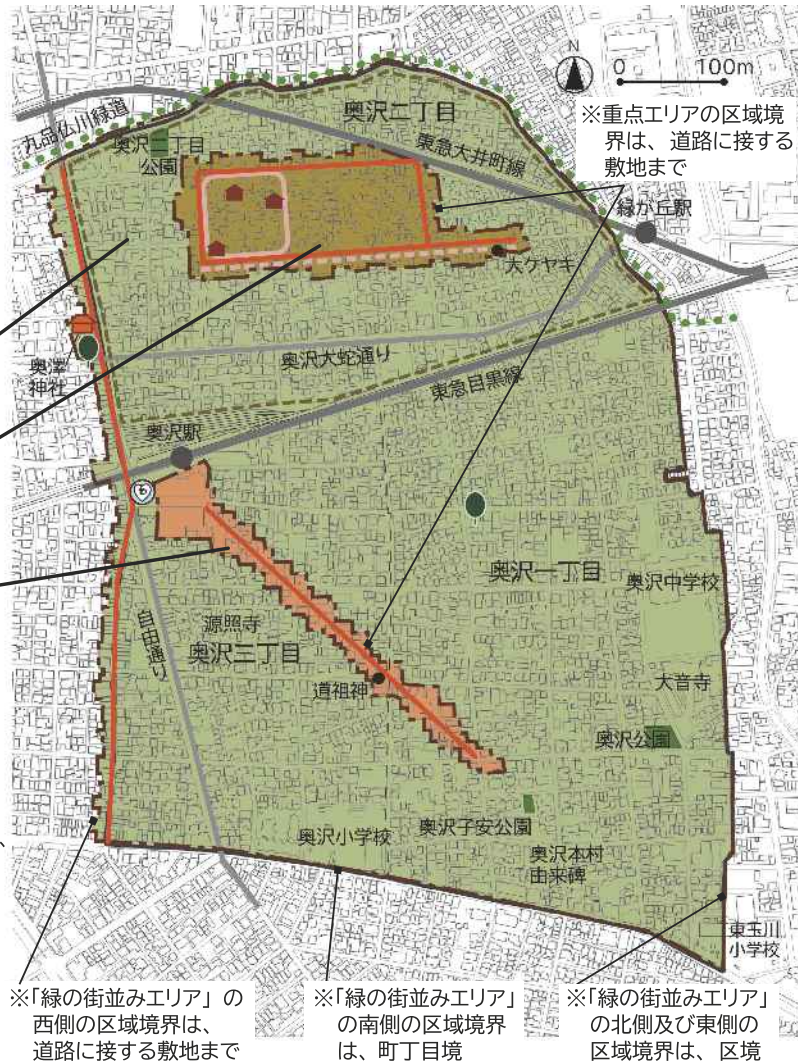
奥沢1～3丁目と区域西側の道路に接する敷地を界わい形成地区に指定し、3つのエリアに分けて風景づくりの取組みを進めていきます。

また、中でも特徴的で魅力ある風景が見られる2つのエリア（地図中の **■** **■**）について「重点的に風景を守り育むエリア（重点エリア）」とします。



[凡例]

- 緑の街並みエリア
- 歴史と緑のエリア
- 道祖神通りエリア
- 文化財（無形民俗文化財 奥沢神社の大蛇お練り行事）
- 世田谷名木百選
- 地域風景資産（奥沢海軍村ゆかりの風景、大ケヤキのある散歩道一ヶやき道）
- 「歴史と緑のエリア」、「道祖神通りエリア」及び「緑の街並みエリア」の西側の区域の境界は、この道路に接する敷地までとします。
- 界わい宣言（奥沢・土とみどりの街づくり宣言）
- 世田谷百景（奥沢駅前広場）
- 歴史のある建物等
- 公園
- 緑道



風景づくりの方針

みどりと人がつなぐ おくさわの風景づくり

奥沢は、みどり豊かな住宅地や歴史を感じさせる街並みなど地域固有の風景を残している他、町会や風景づくり活動団体を中心とした住民主体の地域活動も活発に行われている地域です。みどりの持つ様々な機能を活かすと共に、これまでの奥沢の街並みを継承する風景づくりを進め、奥沢らしさをこれからも時代を超えてつなげていきます。

さらに、奥沢1～3丁目等界わい形成地区では、上記方針を踏まえて、各エリアの特性を活かした以下の6つの項目を大切に風景づくりを進めます。

大きなみどり シンボルとなる特徴的な樹木を大切に活かした風景づくりを進めます。

小さなみどり 低木や草花による道路際の緑化を推進し、みどりがつながる風景づくりを進めます。

歴史 地域の歴史を物語る近代建築をはじめとする、地域の歴史的資産を活かした風景づくりを進めます。

建物 庭先のみどりと調和する建物により、落ち着きのある質の高い住宅地の風景づくりを進めます。

交差点 交差点のみどりを育み、歴史資源を活かし、潤いと安らぎのある沿道の風景づくりを進めます。

地形 通りの特徴や高低差を活かし、街と暮らしを結ぶ沿道の風景づくりを進めます。

緑の街並みエリア

風景の特性

奥沢1～3丁目は、世田谷区の南東に位置し、戸建住宅と集合住宅を中心とした低層住宅地となっています。地区の西側には東急目黒線奥沢駅が位置し、駅周辺や自由通り周辺、諏訪山通り沿道等は、賑わいのある商店街となっています。地区の北側と東側に位置する九品仏川、呑川に向かって低くなる地形となっています。

地区内の住宅地では、庭先に植えられたみどりがつながる特徴的な通りの風景が見られ、また、ところどころに大きな樹木も残されています。これらのみどり豊かで落ち着いた風景は、地区住民の方一人ひとりの手によって守り、育まれています。



大切にす方針の項目

「緑の街並みエリア」では、上記の風景特性を踏まえ、方針の6つの項目のうち、「大きなみどり」「小さなみどり」を特に大切にし、また、「歴史」「建物」「交差点」「地形」を大切に風景づくりを進めます。



将来像



敷地内の道路際は、樹木や草花等により積極的に緑化し、周辺のみどりとつながるよう工夫します。

特性 つながる庭先のみどり

奥沢の風景になじむ樹木を植栽します。
(シンボルツリーや既存の樹木の保存など)

歴史と緑のエリア【重点エリア】

風景の特性

東急目蒲線（現：東急目黒線・多摩川線）開通の頃、奥沢駅の近くに土地をお持ちの方が独力で宅地開発を行い、軍港や本部などへの地の利から海軍士官が移り住みました。玄関ポーチのある近代建築やシュロの木など、当時の面影が残る街並みが見られます。また、周辺には庭先のみどりや生垣が多く、みどり豊かな落ち着いた住宅地の風景がみられます。



大切にの方針の項目

「歴史と緑のエリア」では、上記の風景特性を踏まえ、方針の6つの項目のうち、「大きなみどり」「小さなみどり」「歴史」を特に大切に、また、「建物」「交差点」「地形」を大切にした風景づくりを進めます。



将来像

特性 既存の近代建築

特性 シュロの木などの当時の大きな樹木



建物のデザインは、建物単体のバランスだけでなく、周辺の近代建築等との調和を図ります。

特性 つながる庭先のみどり

既存の高木や状態の良い樹木は、可能な限りそれを活かし、目に留まりやすい大きなみどりを守り育てます。

「(仮) 斜めの道」の愛称が「道祖神通り」に決まったので、エリアの愛称が変わりました！

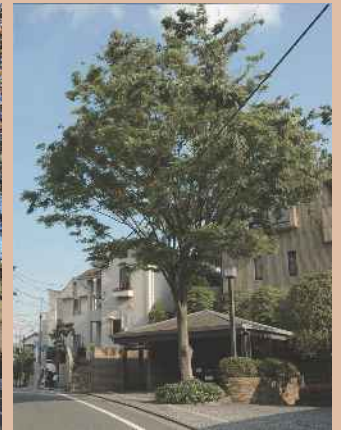


道祖神通りエリア【重点エリア】

風景の特性

奥沢駅から南東方向に伸びる奥沢子安公園方面を結ぶ道路は、碁盤目状の街区に対して斜めに交差し、ゆるやかな高低差と沿道の豊かなみどりにより魅力的な風景となっています。

また、道路沿いの敷地は、建物が道路に対して斜めに配置されているものが多く、特徴的な沿道の風景がみられます。この道は駅までの通勤路などとして周辺住民の方々に親しまれています。



大切にの方針の項目

「道祖神通りエリア」では、上記の風景特性を踏まえ、方針の6つの項目のうち、「大きなみどり」「小さなみどり」「交差点」「地形」を特に大切にし、また、「歴史」「建物」を大切にした風景づくりを進めます。

将来像

特性 ゆるやかな高低差



よう壁や土留め、接道部の空きスペースは、通りからの見え方が魅力的になるよう、使用する素材や植栽を工夫します。

角地や道路の突きあたりなど、通りからよく見える場所では、魅力的な交差点風景となるよう建物のデザインや植栽を工夫します。

特性 シンボルとなる樹木

特性 つながる庭先のみどり

特性 歴史資源